



きずな

5部 N ブロック

Nブロックは西岡南・和光・もみじ台西・西岡・平和・八軒北・真栄グリーン・羊丘の8チームで戦いました。

優勝は西岡南。6年生15人を要し、スピードのあるドリブルやピッチを広く使った攻撃で他チームを圧倒し、



13勝1分けの勝ち点40、得点58で堂々の優勝でした。ブロックから唯一参加するプレーオフでは、上位リーグのチームに渡り合ってほしいと思います。

西岡南に次いで2位となったのは平和。バックの⑦と②が積極的に攻撃参加し、ドリブル突破やミドルシュートなど多彩な攻撃を披露しました。次年度は上位

リーグでの活躍が期待されます。

3位は八軒北。優勝の西岡南に唯一引き分けるなど、GK①とセンターバック②を中心に粘り強いディフェンスができるチームでした。

西岡南以外の7チームからは5年生以下の選手も多く出場する中、どのチームもよく走り、チームワーク



よく元気な声が出て、反則が少ないクリーンなゲームが多く繰り広げられました。小さな体で渡り合った下学年の選手たちの来年以降の活躍がとても楽しみになるリーグでもあったと思います。



どのチームも会場提供に協力的で、2会場で開催できる日もあり、移動や滞在時間の負担を軽減できるとともに、フレンドリーマッチも行うことができました。サポーターからの応援もあたたかくクリーンで、毎試合大きな歓声や拍手が上がっていました。充実したリーグ運営ができたことに感謝するとともに、Nブロックの各チームの今後の活躍を願っています。



4部 Jブロック

4部リーグ Jブロックは、L-WAVE・FC・B、豊園、南月寒、フィールズホープ、菊水、上白石、新発寒、手稲東FCの8チームで行われました。

運営に関して言うと、1会場のみ日程の変更はあったものの、天候にも恵まれた上に、各チームのご協力もありスムーズに進行することが出来ました。この場を借りて改めてお礼申し上げます。



試合に関しては、開幕から接戦が続き、1節ごとに順位が目まぐるしく変わるものになりました。そんな中で接戦を抜け出し、見事に優勝したのは、圧倒的な得点力を見せつけた上白石でした。終わってみれば11勝1敗2分けという素晴らしい成績でした。惜しくも準優勝だったのが豊園でした。豊園は優勝した上白石に2分けと負けなかったものの、勝ちきれない試合が続き3位のL-WAVE・FC・Bに辛くも得失点差で上回る結果となりました。

上白石、豊園は来年ひとつ上のリーグで戦うこととなりますが、期待の持てる戦いぶりでした。

今年のJブロックは、どのチームも6年生が少なく、優勝した上白石も含め5年生メインのチームが多かった印象です。その分どのチームも来年の活躍が非常に楽しみなチームが揃いました。

長期にわたるリーグ戦でしたが、各チームとも試合ごとに成長の跡が感じられ、全体的にそして確実にレベルアップしたように感じます。



各チームの指導者、保護者の皆様のご協力のもと、このリーグ戦が円滑に進みましたこと、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。